

平成22年度 子どもたちの豊かな心を育むつどい

ー 読書を通して子どもたちの「生きる力」を ー



矢原氏の講演

11月6日（土）の午前、寺井地区公民館にて、小松教育事務所管内三市一町の関係者約190人が、実践報告や講演、ブックトーク、対談を通して、豊かな心を育むための読書の大切さへの理解を深めました。

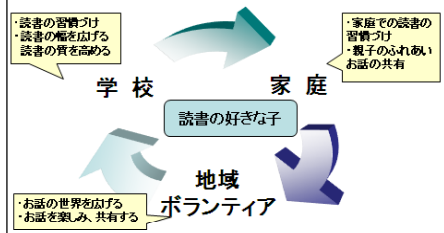
第1部は「平成22年度子どもの読書活動優秀実践校（文部科学省）受賞校」である、小松市立向本折小学校の田村真由美教諭、吉田恵学校司書の2名に、心豊かで読書好きな子を育てる実践を、報告していただきました。

第2部は前小松市教育長 矢原 珠美子 氏の講演、家庭文庫主宰 竹内 のり子 氏のブックトーク、矢原氏と竹内氏の対談で、読書の魅力や、子どもに本を手渡す大人の存在の大きさなどを学ぶことができました。

2. 向本折小学校にとって読書とは

目標「心豊かで読書好きな子を育てる」

学校ぐるみで読書活動を推進



小松市立向本折小学校から、学校家庭、地域ボランティアが一体となった取り組みが紹介されました



竹内氏のブックトーク



子どもたちに本を読んであげたい気持ちで、いっぱいになりました。とても良い話が聞けて、よかったです。

矢原先生の講演から、改めて読書が持つ力を感じました。読書は「心の栄養」といわれませんが、誰に対しても「平等」の世界を与えてくれることを再認識しました。

竹内さんからすすてきな本を紹介していただき、自分もぜひ手にしてみたいと思いました。また、自分でもその他の良書を探してみたいです。

読書は良いものであることはわかってはいたが、矢原先生の講演から、読書を通して豊かな心を育むヒントをいただいたと思います。

★参加者からの

意見・感想